

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課 市民協働課	市民協働課 No.27
施策	(3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備						
取組	女性活躍推進のための講座などの開催						
具体的な取組内容	女性活躍推進のために職場環境を考える講座などを開催する。						
男女共同参画の視点からの達成目標	企業の人事担当者や労働者が、職場での適切な人員配置と必要な業務改善について考えることで、働きやすい職場環境の整備がすすむ。						
指標	女性活躍推進のための講座の受講者数			指標の出典	—		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標 ＜平成28年度＞							20人
実績	—	10人	15人				
活動計画	育休・短時間勤務を選択する社員も増えていることで他の職員にかかる負担を考慮し、適切な人員配置と必要な業務改善とは何かを考えるワークショップを開催する。						進捗状況
元年度 活動実績	「新しい私」発見講座の中で話し合いを実施。						B
課題等	講座の受講者は年配の女性が多く、若い女性が参加しやすい講座を検討する必要である。						
次年度の活動計画	「新しい私」発見講座を見直し、若い女性が積極的に参加できる講座を開催する。						

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課 子育て支援課 N o.28
施策	(3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備					
取組	子育て家庭への支援の充実					
具体的な取組内容	地域子育て支援拠点事業を充実し、子育てへの不安解消の手助けをする。					
男女共同参画の視点からの達成目標	子育て中の市民が、子育ての不安が解消することによって、子育てに前向きになる。					
指標	子育て支援センター、つどいの広場利用人数		指標の出典	—		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標	<H28年度>					85,000人
実績	80,664人	108,986人	90,200人			
活動計画	子育て支援センター5か所（H31.3.31 根崎子育て支援センター業務終了、H31.4.1 和泉子育て支援センター開設） つどいの広場4か所					
元年度 活動実績	子育て支援センター5か所（子育て相談や子育て情報の提供、子育てサークルの支援など） つどいの広場4か所（親子が気軽に立ち寄り、自由に過ごせる場の提供）					
課題等	子育て支援センター、つどいの広場を複数か所設置することで、より多くの親子の利用や充実した子育て支援に繋がっている。 コロナウィルス感染防止のため、3月2日～子育て支援センター、広場の利用を閉鎖したため、人数が減少した。					
次年度の活動計画	子育て支援センター5か所 つどいの広場4か所					

A

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課	生涯学習課 N.o.29
施策	(3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備						
取組	女性のライフプランニング支援						
具体的な取組内容	積極的な社会参画を目指す女性をはじめ、女性が充実した生活を送るための講座を開講する。						
男女共同参画の視点からの達成目標	女性が充実した生活を送るための講座を受講することで、積極的な社会参加が望めるようになる。						
指標	女性が充実した生活を送るための講座実施数			指標の出典	-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	→ 1回						
実績	一						
元年度	活動計画	女性のライフプランニング（キャリアプラン含む）を支援する講座を開講する。					
	活動実績	コミュニケーション講座や話し方講座等、女性が充実した生活を送るための多種多様な講座を開講し、好評であった。					
	課題等	女性の社会参画の方法は多様化されており、時代のニーズに合った講座を企画する必要がある。					
	次年度の活動計画	女性のライフプランニングを支援する講座を継続して実施する。					

A

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備					担当課	危機管理課 No.31
施策	(1) 地域・市民活動や防災・防犯分野における参画促進						
取組	防災活動における男女共同参画の推進						
具体的な取組内容	防災会議などへの女性委員の登用や、女性の視点から考えられる避難所の備蓄品整備を推進する。						
男女共同参画の視点からの達成目標	女性の意見が防災計画や備品計画に反映される。						
指標	① 女性の視点に配慮した備蓄品の配備			指標の出典	女性の視点に配慮した備蓄品（トイレ用ランタン、除菌消臭剤、ウェットティッシュ）の配備		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>						→ 配備完了
実績		備蓄品の購入	備蓄品の配備				
指標	② 防災会議の女性の登用率			指標の出典	-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>						→ 30%
実績		8%	13.8%	13.8%			
活動計画	備蓄計画に基づき、各避難所に配備する。 防災会議などへの女性委員の登用を図るとともに、女性委員の意見を反映できる環境を整備していく。						進捗状況
元年度	活動実績	購入した備蓄品の配備を進めた。 防災会議において、4名の女性委員の登用を図り、女性の意見を反映できる環境を整えた。（登用率：女性数4名／全委員数29名）					
	課題等	各団体の役職者から委員を選出しているため、女性委員の登用が難しい。					
次年度の活動計画		備蓄計画に基づき各避難所に配備を進める。 防災会議などへの女性委員の登用を図るとともに、女性委員の意見を反映できる環境を整備していく。					

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備					担当課 市民安全課 No.32
施策	(1) 地域・市民活動や防災・防犯分野における参画促進					
取組	女性を狙う犯罪から身を守るための講座の開催					
具体的な取組内容	女性を狙う犯罪から身を守るため、防犯教室などの講座を開催し、防犯に対する意識の向上を図る。					
男女共同参画の視点からの達成目標	防犯教室等の参加者が、実践を多く行うことにより、女性の防犯意識が高まるとともに、対応策を身に付けることで不審者に対する心構えができるようになる。					
指標	女性対象防犯教室の参加者数（累計）			指標の出典	-	
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標	<H28年度>					
実績	<H28年度> 1,142人 (累計)	1,400人	1,520人			1,940人
元年度	活動計画	継続して開催する。				
	活動実績	令和元年8月27日（火）不審者等侵入対策研修会（さすまた研修会）開催				
	課題等	さすまた以外にも不審者対策に有効な手段がないか検討する。 多くの人が参加できるように創意工夫を行う。				
	次年度の活動計画	継続して開催する。				
		B				

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備					担当課 市民協働課 N o.33
施策	(1) 地域・市民活動や防災・防犯分野における参画促進					
取組	男女共同参画に取り組む市民活動団体の育成					
具体的な取組内容	様々な団体と連携し、男女共同参画の趣旨を理解し男女共同参画の視点で活動する団体をふやす。					
男女共同参画の視点からの達成目標	市民活動団体が、それぞれの分野の取組の中で男女共同参画を促進するようになる。					
指標	男女共同参画の活動を行なう団体数			指標の出典	市民活動センターの登録団体のうち男女共同参画にチェックのある団体数	
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標 <平成28年度>						32団体
実績 31団体	33団体	34団体				
活動計画	町内会や市民活動団体等へ男女共同参画の趣旨を啓発し、男女共同参画をすすめる事業に市の補助金等を支給する					進捗状況
活動実績 元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会へ男女共同参画の情報提供を実施</li> <li>・市民活動団体へ、男女共同参画に関するイベントの案内や情報誌を配布</li> <li>・男女共同参画の推進に取り組む団体に市民活動補助金を交付</li> </ul>					A
課題等	連続して男女共同参画の市民活動補助金を受託する市民団体がない。					
次年度の活動計画	町内会や市民活動団体等へ男女共同参画の趣旨を啓発し、男女共同参画をすすめる事業に市の補助金等を支給する。					

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備				担当課	健康推進課 N.o.34
施策	(2) 性差を踏まえた健康づくりの推進					
取組	妊娠や出産に関する健康支援の実施					
具体的な取組内容	子どもを望む夫婦を支援するため不妊治療費の助成を行う。また、妊娠婦健康診査の実施にあたり、受診しやすいように妊娠婦健康診査費の助成を行う。					
男女共同参画の視点からの達成目標	助成を受けた夫婦が、経済的負担の軽減により、安心して妊娠に向けて取り組んだり、出産を迎えるようになる。					
指標	妊娠11週までの妊娠届出率		指標の出典	妊娠11週までの届出数/全届出数		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標	<H28年度>					
実績	95.8%	96.4%	95.4%			95%以上
活動計画	不妊治療費の助成を行う。 妊娠婦健康診査費の助成を行う。					
元年度 活動実績	妊娠11週までの妊娠届出率（妊娠11週までの届出数1,706件／全届出数1,788件） 不妊治療費助成申請数300件 助成金額9,307,000円 妊娠婦健康診査費助成延人数24,332人					
課題等	不妊治療費助成申請1件あたりの助成額が減少し、総助成額が毎年下がっている。 妊娠婦健康診査費助成 母子保健情報の利活用のR2年度稼働					
次年度の活動計画	不妊治療費の助成を行う。予定申請数320件 助成金額11,200,000円 ・対象治療及び費用の調査、分析をし、県や他市の助成状況を見ながら、対象治療、費用限度額を検討していく。 妊娠婦健康診査費の助成を行う。 ・産婦歯科健康診査ケア事業を開始する。・母子保健情報の利活用の稼働					

A

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備					担当課	健康推進課 N o.35
施策	(2) 性差を踏まえた健康づくりの推進						
取組	男女特有の疾病に対する予防支援						
具体的な取組内容	各種がん検診の実施や保健指導・健康教育などを通じ、性差に応じた健康課題に対する予防支援を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標	市民が、男女特有の疾病（子宮頸がん、乳がん、前立腺がん）の検診受診の重要性を認知することで検診を受診するようになる。						
指標	乳がん検診受診率		指標の出典	乳がんの受診率（国保加入者）			
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>						28%
実績	17%	17%	27.3%				
元年度	活動計画	様々な機会を捉え、検診受診の重要性を周知する。					進捗状況
	活動実績	乳がん検診受診率＝分子：国保加入者（H30受診者数+H31受診者数－2年連続受診者数）／分母：国保加入者数（女性40～69才） ＝（2,014名+2,040名-1,412名）／9,689名 乳がん検診の受診勧奨のはがきに早期発見の必要性をグラフを活用して盛り込み、がん検診の必要性の周知に努めた。 乳幼児健診会場にチラシやポスターを設置し乳がん自己検診法の周知に努めた。					A
	課題等	乳がん検診の受診と乳がん自己検診法の周知が必要である。					
	次年度の活動計画	様々な機会を捉え、引き続き検診受診の重要性を周知する。					

※平成30年度の実績値は国保加入者のみの受診率が出せず全対象者の受診率で計上したが、令和元年度以降は国保加入者のみの受診率が計上できるため、今回実績値に大きな差が出た。

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備					担当課	保育課 N.o.36
施策	(3) 参画を助ける環境の整備						
取組	通常教育・保育事業の推進						
具体的な取組内容	「安城市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、保育所等における受入体制を整備する。						
男女共同参画の視点からの達成目標	保育を希望する市民の子どもが、より多く保育園等に入所できるようになる。						
指標	保育園等への入園申込をした児童のうち、どこにも入園できなかった児童の人数（再掲）		指標の出典		-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>						0人
実績		0人	19人	5人			
元年度	活動計画	適切な利用調整を実施するとともに、令和3年度開園予定の新園（私立）設立の準備を行っていく。					進捗状況
	活動実績	保育園の申込状況に応じて入園選考指数に基づき適切な利用調整を行った。					B
	課題等	待機児童が発生した。					
次年度の活動計画	引き続き適切な利用調整を実施するとともに、令和4年度開園予定の新園（私立）設立の準備を行っていく。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備					担当課	保育課 No.37
施策	(3) 参画を助ける環境の整備						
取組	一時預かり事業、時間外保育事業、病児・病後児保育事業等の充実						
具体的な取組内容	働く男女を支援するため、休日保育、一時保育、延長保育、病児・病後児保育などの各種保育・子育て支援サービス事業を推進する。						
男女共同参画の視点からの達成目標	市民が、多様な保育サービスを受けることで、就労等で保育を必要とする父母が安心して子どもを預けられる。						
指標	一時、休日、延長、病児・病後児保育実施園数		指標の出典		-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>  一時：9園 休日：2園 延長：31園 病児・病後児：1園						一時：10園 休日：2園 延長：32園 病児・病後児：1園
実績		一時：10園 休日：2園 延長：32園 病児・病後児：1園	一時：11園 休日：2園 延長：36園 病児・病後児：1園				
元年度	活動計画	令和3年度開園予定の新園（私立）が決定次第、一時保育、延長保育の実施について調整を行う。					進捗状況
	活動実績	令和元年度開園のブライト保育園及び麦のうさぎ保育園の一時保育、延長保育を実施した。安城幼稚園及びさくの幼稚園がこども園となり、保育園コースの延長保育を実施した。					A
	課題等	子ども・子育て支援事業計画の中で市民ニーズを把握し、要望に応える必要がある。					
次年度の活動計画		令和4年度開園予定の新園（私立）が決定次第、一時保育、延長保育の実施について調整を行う。					

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備					担当課	子育て支援課 No.38
施策	(3) 参画を助ける環境の整備						
取組	放課後児童健全育成事業（児童クラブ）の推進						
具体的な取組内容	屋間保護者が就労等で家庭にいない小学生を対象に放課後児童健全育成事業を実施し、児童の健全育成を図る。						
男女共同参画の視点からの達成目標	それぞれの家庭の状況を踏まえて、働く保護者が安心して子どもを預けられるように子育てできるようになる。						
指標	① 児童クラブへの入会申込をした児童のうち、どこの児童クラブにも入会できなかった児童の数		指標の出典	—			
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>						→ 0人
実績		0人	2人				
指標	② 児童クラブ入会登録児童数		指標の出典	—			
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>						→ 2,000人
実績		1,852人	2,077人	2,146人			
元年度	活動計画	核家族化、共働き家庭の増加など社会情勢の変化による児童クラブの需要の高まりに対応するため、施設や支援員等の環境を整備していく。					
	活動実績	公営 48施設 定員2000人 民間 4施設 定員 146人					
	課題等	6年生までの受け入れを拡大したが、4年生以下の利用児童が増加しており、施設、児童支援員ともに不足している。					
次年度の活動計画		公営 52施設 定員2195人 民間 4施設 定員 146人					

① C  
② A

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備					担当課	人事課 N o.39	
施策	(3) 参画を助ける環境の整備							
取組	市職員における介護離職ゼロに向けた取組の推進							
具体的な取組内容	高齢化の進行に伴う介護離職等を防止するため、介護休業制度の定着を促進する。							
男女共同参画の視点からの達成目標	全ての職員が、介護休業制度を十分認識し、夫婦・家族で介護を担えるようになる。							
指標	介護休暇制度の周知回数			指標の出典	-			
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<H28年度>						→ 3回	
実績		1回	1回					
活動計画	介護休業制度を掲載した人事事務必携を職員共有サイトに掲載し、積極的に職員へ制度を周知する。						進捗状況	
元年度 活動実績	介護休業制度を掲載した人事事務必携を職員共有サイトに掲載し、積極的に職員へ制度を周知した。						C	
課題等	実際に周知できているか不明。							
次年度の活動計画	介護休業制度を掲載した人事事務必携を職員共有サイトに掲載し、引き続き積極的に職員へ制度を周知する。							

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課 市民協働課 N o.40	
施策	(1) 多様性を認め合う社会環境の整備						
取組	LGBT等、多様な性に関する理解促進						
具体的な取組内容	性的少数者（LGBT等）に対する理解を深めるための啓発を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標	市民が性的少数者（LGBT等）に対する対応方法を理解し、多様性を認め合うようになる。						
指標	市民向け啓発回数		指標の出典				
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	＜平成28年度＞	職員向けに実施	市民向けに実施			2回	
実績	一	7回	7回				
活動計画	性的少数者（L G B T等）の啓発を実施する						
元年度	活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「新しい私」発見講座の受講生に啓発</li> <li>・男女共同参画セミナーにてL G B Tの講演を実施</li> <li>・市内年少児及び3歳児の保護者にL G B Tのリーフレットを配布</li> <li>・中学3年生にL G B Tに関する内容を含むリーフレットを配布</li> <li>・職員向けにL G B T研修を実施（97名参加）</li> <li>・新規採用職員に資料を配布</li> <li>・男女共同参画のイベントでL G B Tに関するリーフレットを配布</li> </ul>					
	課題等	教職員のL G B T研修の参加を促進すること。					
次年度の活動計画		性的少数者（L G B T等）の啓発を実施する。					

A

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課 市民協働課	市民協働課 N.o.41
施策	(1) 多様性を認め合う社会環境の整備						
取組	あらゆるハラスメントへの防止に向けた啓発						
具体的な取組内容	様々なハラスメントや人権侵害問題の防止に向けた啓発を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標	ハラスメントをする人が人権侵害をしないようになる。						
指標			指標の出典				
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<平成28年度>						
実績	一	市公式ウェブサイトに掲載	啓発・研修を実施				
活動計画	様々なハラスメントや人権侵害問題の防止について掲載して啓発する						
元年度	活動実績 ・広報あんじょう11月1日号に女性を暴力から守る週間の記事を掲載 ・中学3年生にデートDVについてや性の多様性などの理解を深めるリーフレットを配布 ・女性のDV相談及び男性のDV相談先のミニパンフを公共施設で配布 ・DV職員研修を実施（55名参加）						
課題等	ハラスメント等を受けている人が相談できているか把握できない。						
次年度の活動計画	様々なハラスメントや人権侵害問題の防止について啓発する。						

A

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民安全課 N○.41
施策	(1) 多様性を認め合う社会環境の整備						
取組	あらゆるハラスメントへの防止に向けた啓発						
具体的な取組内容	様々なハラスメントや人権侵害問題の防止に向けた啓発を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標	小・中学生を含めた市民が、人権問題の知識を得ることで、誰もが住みよい社会となる。						
指標	—			指標の出典	—		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>	—	—	—	—	—	
実績		—	—	—	—	—	
元年度	活動計画	人権教室（小学校）、人権ライブ（中学校）、七夕等での街頭啓発					進捗状況
	活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教室 小学校6校実施</li> <li>・人権ライブ 中学校1校実施</li> <li>・街頭啓発 七夕会場で実施</li> </ul>					B
	課題等	一般向け啓発事業の先進事例を調査し、実施の検討をする。					
	次年度の活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教室（小学校）、七夕会場以外での街頭啓発活動</li> <li>・人権ライブは一巡したため終了。</li> </ul>					

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶						担当課	商工課 No.41
施策	(1) 多様性を認め合う社会環境の整備							
取組	あらゆるハラスメントへの防止に向けた啓発							
具体的な取組内容	様々なハラスメントや人権侵害問題の防止に向けた啓発を行う。							
男女共同参画の視点からの達成目標	事業主が、人権侵害の防止の取り組みをするようになる。							
指標	ハラスメントに関する啓発回数			指標の出典	—			
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<H28年度>						→	—
実績		0回	2回					
活動計画	情報があれば商工会議所会報などを通じて市内事業所に向けての啓発を行う。							進捗状況
元年度	活動実績	チラシの配布を行い制度理解を促進した。						
	課題等	継続して周知を進めることで、今後ますます各種制度の理解が深まるよう取り組みを進める。						
次年度の活動計画		国・県等よりのチラシ等による啓発を行う						

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	学校教育課 No.41
施策	(1) 多様性を認め合う社会環境の整備						
取組	あらゆるハラスメントへの防止に向けた啓発						
具体的な取組内容	様々なハラスメントや人権侵害問題の防止に向けた啓発を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標	教職員が、様々なハラスメントや人権侵害問題を意識するようになる。						
指標	教職員向け研修会への参加者割合			指標の出典	-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>						→ 50%
実績		25%	29%				
元年度	活動計画	県主催の研修会を各学校へ啓発し、参加を呼びかける。					進捗状況
	活動実績	県主催の研修会を各学校へ啓発し、約150人が参加した。 各学校での講演会に、約140人が参加した。 (150人+140人)／市内教職員約1,000人					B
	課題等	教職員の参加を呼びかけても、自主的な参加者が少ない。					
次年度の活動計画		県主催の研修会を各学校へ啓発し、参加を呼びかける。					

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民協働課 No.42
施策	(1) 多様性を認め合う社会環境の整備						
取組	様々な相談事業の実施						
具体的な取組内容	女性相談、母子相談、子育て相談、DVや児童虐待に関する相談、心配ごと相談業務の充実を図る。						
男女共同参画の視点からの達成目標	DV被害者が、安心して生活を立て直せるようになる。						
指標	DVに関する相談件数		指標の出典	-			
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<平成28年度>						
実績	1件	0件	1件				
元年度	活動計画	相談者の気持ちと今後についての検討を十分に行い、関係部署での連携が図れるようにする。					進捗状況
	活動実績	住民基本台帳の閲覧制限についての相談あり。					B
	課題等	男性の被害者についての対応が不明確。					
次年度の活動計画		相談者の気持ちと今後についての検討を十分に行い、関係部署での連携が図れるようにする。					

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民安全課 N o.42	
施策	(1) 多様性を認め合う社会環境の整備							
取組	様々な相談事業の実施							
具体的な取組内容	女性相談、母子相談、子育て相談、DVや児童虐待に関する相談、心配ごと相談業務の充実を図る。							
男女共同参画の視点からの達成目標	女性が安心して、相談できるようになる。							
指標	女性相談の相談件数			指標の出典	—			
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<H28年度>							
実績		71件	80件	79件				
元年度	活動計画	女性相談の実施					進捗状況	
	活動実績	女性相談51回実施。					B	
	課題等	DVのケースにより対応する部署が異なるが、対応部署の棲み分けはできている。						
	次年度の活動計画	女性相談の実施。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	子育て支援課 No.42
施策	(1) 多様性を認め合う社会環境の整備						
取組	様々な相談事業の実施						
具体的な取組内容	女性相談、母子相談、子育て相談、DVや児童虐待に関する相談、心配ごと相談業務の充実を図る。						
男女共同参画の視点からの達成目標	DV被害者が、安心して生活を立て直せるようになる。						
指標	① 母子相談の相談件数			指標の出典	-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>						→ -
実績	636件		1,137件	907件			
指標	② 子育て相談の相談件数			指標の出典	-		
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
目標	<H28年度>						→ -
実績	123件		152件	145件			
指標	③ DVや児童虐待に関する相談			指標の出典	-		
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
目標	<H28年度>						→ -
実績	174件		117件	69件			
元年度	活動計画	相談、助言、指導できる体制を維持する					進捗状況
	活動実績	件数については増減があったが、相談、助言、指導できる体制はとれた。					① B
	課題等	体制を維持できるよう職員のスキルアップを図る。					② B
次年度の活動計画		元年度、同様の体制を維持する。					③ B

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課 社会福祉協議会	No. 42
施策	(1) 多様性を認め合う社会環境の整備						
取組	様々な相談事業の実施						
具体的な取組内容	心配ごと相談の充実を図る。						
男女共同参画の視点からの達成目標	様々な事情を抱える利用者が分け隔てなく利用しやすくなる。						
指標	心配ごと相談件数		指標の出典		—		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標 <平成28年度>							→ —
実績	64件	45件	46件				
活動計画	心配ごとを相談できる身近な窓口として、利用者が分け隔てなく利用しやすい相談所の運営を継続する。						進捗状況
活動実績	相談しやすい体制をとるため、心配ごと相談は週5日(火曜日から土曜日、予約不要)を開催している。相談ができる場として相談者の悩みを聞き、問題を整理、支援の場となっており、必要に応じて各種専門相談窓口を紹介したり、専門職と連携して解決を図る役割を果たしている。						B
課題等	心配ごと相談の窓口だけでは、解決の難しい相談もあり、専門の相談窓口や専門職との連携が引き続き必要である。他機関への情報提供については、本人の同意がとれない場合もあり、他機関へ繋げない場合もある。包括支援センターなど専門の相談窓口が充実し、直接専門の相談機関に相談できたり、地域の福祉活動の中で悩みごとがキャッチされ専門機関につながるなど、心配ごと相談窓口を経由しなくても相談できるケースが増加している一方で、どこに相談に行けばいいのかわからない悩みを聞いてほしいなどの相談に対応できる窓口も必要とされている。						
次年度の活動計画	心配ごとを相談できる身近な窓口として、利用者が分け隔てなく利用しやすい相談所の運営を継続する。						

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課 市民協働課	市民協働課 N.o.43
施策	(2) DVの啓発と早期対応						
取組	DV防止に向けた情報提供・啓発の実施						
具体的な取組内容	DVの相談窓口の周知やパンフレットを作成・配布し、DVに関する知識の普及を進める。						
男女共同参画の視点からの達成目標	DV防止についての啓発を実施することで、DVで悩む人が安心して相談するようになる。 DV加害者がDVとの認識を持ち、DVをしなくなる。						
指標	DVの啓発回数		指標の出典				
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標 <small>&lt;平成28年度&gt;</small>	5回						5回
実績		9回	7回				
活動計画	DV防止のチラシ等を作成・配布する。					進捗状況	
元年度	活動実績	①「新しい私」発見講座 男女共同参画の講義でDVについて講話し、DVミニパンフ配布 ②男女共同参画週間イベント会場でDVミニパンフ配布 ③DV職員研修実施 ④男女共同参画月間イベント会場でDVミニパンフ配布 ⑤男女共同参画セミナーにてDVミニパンフを配布 ⑥公共施設のトイレ等にDVミニパンフ及び男性相談窓口カード（県より配布）を設置 ⑦中学3年生にデートDVなどの内容のリーフレットを配布					A
	課題等	相談先などミニパンフの内容を見直す必要あり。					
次年度の活動計画	DV防止のチラシ等を作成・配布する。						

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課 子育て支援課 N o.43
施策	(2) DVの啓発と早期対応					
取組	DV防止に向けた情報提供・啓発の実施					
具体的な取組内容	DVの相談窓口の周知やパンフレットを作成・配布し、DVに関する知識の普及を進める。					
男女共同参画の視点からの達成目標	DV防止についての啓発を実施することで、DVで悩む人が安心して相談するようになる。 DV加害者がDVとの認識を持ち、DVをしなくなる。					
指標	DVの啓発人数			指標の出典	—	
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標	<H28年度>					
実績		21小学校	21小学校			市内21小学校 (全新1年生保護者)
元年度	活動計画	小学校入学前検診にて、保護者へDV及び虐待についての啓発を行う。				
	活動実績	小学校入学説明会において冊子を使った啓発を行った。				
	課題等	時間は短いが保護者への啓発はできている。（時期については要検討）				
	次年度の活動計画	小学校入学説明会などを利用し、啓発を行う。				

A

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課 市民協働課 N o.44
施策	(2) DVの啓発と早期対応					
取組	DVに関する相談対応の実施					
具体的な取組内容	DV被害者の早期対応を行う。					
男女共同参画の視点からの達成目標	被害に合った時にすぐに相談できる体制をつくることで、市民が早期に相談ができるようになる。					
指標	DV被害を受けた後、どこにも相談しなかった人の割合			指標の出典		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標 <平成28年度>	52.5%					50.6%
実績	一	一				
活動計画	DV庁内会議で被害者に応じた相談窓口体制づくりの検討する					進捗状況
元年度	DV庁内会議を開き、經營管理課、市民課、社会福祉課、障害福祉課、高齢福祉課、子育て支援課、市民協働課でDV相談体制について協議した。					A
課題等	市民アンケートにて指標の数値を求めるが、令和元年度は市民アンケートを実施していないため、把握できていない。					
次年度の活動計画	DV庁内会議で被害者対応の情報共有をする。					

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課 市民安全課 No.44					
施策	(2) DVの啓発と早期対応										
取組	DVに関する相談対応の実施										
具体的な取組内容	DV被害者への早期対応を行う。										
男女共同参画の視点からの達成目標	DV被害者が、相談しやすくなる。 DV被害者が、住民票等の支援措置受けることで、生活の建て直しがしやすくなる										
指標	DVに関する相談件数			指標の出典	—						
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度					
目標  実績	<H28年度> 8件		—								
元年度	活動計画	広報での相談窓口の周知12回、ウェブサイトでの周知、相談窓口一覧表（紙）の配布					進捗状況				
	活動実績	広報での相談窓口の周知12回、ウェブサイトでの周知、相談窓口一覧表（紙）の配布					B				
	課題等	DV相談内容によって対処方法が変わるが、相談者には分かりづらい。									
次年度の活動計画		相談窓口の周知を広報、ウェブサイト、紙資料配布により実施する。									

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	子育て支援課 No.44
施策	(2) DVの啓発と早期対応						
取組	DVに関する相談対応の実施						
具体的な取組内容	DV被害者の早期対応を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標	DV被害者が安心して相談できるようになる。						
指標	DVに関する相談件数		指標の出典		—		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度> 22件						→ —
実績		21件	10件				
活動計画	庁内会議を通じて連携を図り、相談先の明確化についてはひきつづき検討						進捗状況
元年度	活動実績	庁内会議を通じて連携を図っているが相談先の明確化については母子は子育て支援課、高齢者については高齢福祉課、障害者については障害福祉課、その他は社会福祉課での取り扱いとした。					
	課題等	各課の担当者が適切に相談をはじめ、支援ができるようにする。					
	次年度の活動計画	庁内会議を通じて連携を図る。					

A

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	子育て支援課 No.45	
施策	(2) DVの啓発と早期対応							
取組	被害者支援にあたっての関係機関との連携強化と適切な一時保護の実施							
具体的な取組内容	女性相談センター、児童相談センター、警察及び市の関係部署と横断的に連携をとり、被害者を適切に一時保護する。							
男女共同参画の視点からの達成目標	女性相談センター、児童相談センター、警察及び市の関係部署と連携して、職員が、被害者を適切に一時保護をし、身体の安全を確保できるようになる。							
指標	一時保護件数			指標の出典	-			
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<H28年度>						→ -	
実績		1件	1件	2件				
元年度	活動計画	関係機関と連携を図り、身の安全を確保する。					進捗状況	
	活動実績	被害者の状況を確認しながら身体の安全を確保することができた。					B	
	課題等	職員が適切に一時保護、母子生活支援施設への入所など支援のスキル維持が必要。						
	次年度の活動計画	今後も関係機関との連携を図り、身の安全を図る。						

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民協働課 No.46
施策	(2) DVの啓発と早期対応						
取組	被害者の自立支援						
具体的な取組内容	DV被害者が自立した生活が送れるよう長期的な支援を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標	DV被害者が自立した生活が送れるようなる。						
指標	—		指標の出典		—		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標 ＜平成28年度＞	—						→ —
実績	—	—	—	—	—	—	
活動計画	行政はDV被害者の希望を聞き取り、庁内関係部署と連携して必要な支援をする						進捗状況
活動実績	住民基本台帳の閲覧制限についての相談あり。						
課題等	庁内関係部署との連携が必要。						A
次年度の活動計画	行政はDV被害者の希望を聞き取り、庁内関係部署と連携して必要な支援をする。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民安全課 No.46
施策	(2) DVの啓発と早期対応						
取組	被害者の自立支援						
具体的な取組内容	DV被害者が自立した生活が送れるよう長期的な支援を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標	DV被害者が、市民相談、女性相談、法律相談などを活用し、生活の建て直しの方法を見出す。						
指標	—		指標の出典		—		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>	—	—	—	—	—	
実績		—	—	—	—	—	
元年度	活動計画	市民相談、女性相談、法律相談など支援できる相談業務を行う。					進捗状況
	活動実績	市民相談、女性相談、法律相談など支援できる相談業務を実施した。					B
	課題等	市民にどれだけ周知されているか、確認できない。					
	次年度の活動計画	市民相談、女性相談、法律相談など支援できる相談業務を実施する。					

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	子育て支援課 No.46
施策	(2) DVの啓発と早期対応						
取組	被害者の自立支援						
具体的な取組内容	DV被害者が自立した生活が送れるよう長期的な支援を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標	市が、支援措置や一時保護をした母子に対して今後の生活設計を十分に聞き取り、自立した生活が送れるように庁内が連携して支援することができる。						
指標	関係部署とのコア会議回数			指標の出典	-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>						→ -
実績		0回	0回				
活動計画	各担当と連携をしながら進めていく						進捗状況
元年度	活動実績	コア会議の回数はありませんが、庁内が連携できるように会議を実施している。					
	課題等	各担当同士の連携はとれているが会議を開催していないため方針がすれないようになる。					
次年度の活動計画		今後も各担当と連携できるよう努めます。					

B

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課 市民協働課 No.47	
施策	(2) DVの啓発と早期対応						
取組	二次被害の防止に向けた市役所対応の強化						
具体的な取組内容	女性や児童に対する暴力の認識を深め、被害者を早期発見することができるよう市職員・教職員への研修を実施する。また、個人情報保護の取り扱いについて周知徹底を図る。						
男女共同参画の視点からの達成目標	研修を受講した職員がDVに対する認識や理解を深めることができる。						
指標	DV職員研修の実施回数			指標の出典	-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<平成28年度> 0回					→ 1回	
実績		1回	1回				
活動計画	市民協働課、子育て支援課と共同で職員へDVについての研修を実施し、DV被害者への対応方法等を知ってもらう。						
元年度	活動実績	DV職員研修を実施。（55名参加） 講師：加藤佐紀子氏（ウィメンズカウンセリング名古屋YWCA）					
	課題等	参加者の中には、DV被害者と接する機会がないと考える職員がいた。もっとDVについての理解を促し、被害者が市役所へ来た時に、どの課の窓口でも正しい対応ができるように今後も研修が必要である。					
次年度の活動計画		市民協働課、子育て支援課と共同で職員へDVについての研修を実施し、DV被害者への対応方法等を知ってもらう。					

A

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民課 No.47
施策	(2) DVの啓発と早期対応						
取組	二次被害の防止に向けた市役所対応の強化						
具体的な取組内容	女性や児童に対する暴力の認識を深め、被害者を早期発見することができるよう市職員・教職員への研修を実施する。また、個人情報保護の取り扱いについて周知徹底を図る。						
男女共同参画の視点からの達成目標	職員が、住民情報の支援措置の制度を認識することで、DV被害者の個人情報が守られる。						
指標	—			指標の出典	—		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>						—
実績		—	—				
元年度	活動計画	住民情報の支援措置の制度について、関係課の職員へ説明会を毎年度実施する。					
	活動実績	説明会を実施した（1回）					
	課題等	説明会の内容として、制度概要だけでなく、具体的な連携方法についても含めることにより、支援措置制度の認識を高める。					
次年度の活動計画		引き続き、関係課の職員へ説明会を実施する。					

B

## 第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	子育て支援課 No.47
施策	(2) DVの啓発と早期対応						
取組	二次被害の防止に向けた市役所対応の強化						
具体的な取組内容	女性や児童に対する暴力の認識を深め、被害者を早期発見することができるよう市職員・教職員への研修を実施する。また、個人情報保護の取り扱いについて周知徹底を図る。						
男女共同参画の視点からの達成目標	研修を受講した職員が、DVに対する認識や理解を深めることができる。						
指標	市職員向けDV研修の参加者数			指標の出典	社会福祉事務所新任研修受講者		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>						→ —
実績	40人	31人	55人				
活動計画	DVに対する認識や理解できる方法を検討						進捗状況
元年度 活動実績	外部講師を招き、DVに対する認識、理解をすることができた。 平成30年度まで行っていた社会福祉事務所新任研修は令和元年度は実施を見送ったため、全課対象の市職員向けDV研修を市民協働課と共同開催し、職員のDV認識に努めた。						A
課題等	特になし						
次年度の活動計画	令和2年度以降も社会福祉事務所新任研修を実施する予定はないため、全課対象の市職員向けDV研修を共同開催し、今後もDVに対する認識や理解できるように努める。						